



「小江戸川越防犯のまちづくり情報」
 メール配信サービス実施中
 kawagoe.bouhan@mpme.jp
 *登録を希望する方は、空メールを送信してください。

小江戸川越防犯けいはつ隊 (増やそう防犯の「目」く「ちよこ防」活動)

平成十九年中の市内における全刑法犯の犯罪件数(概数)は、六千六百五十四件と前年の七千二百二十件より五百六十六件減少し、同十七年から三年連続で減少しました。減少した理由の中で最も大きなものは、地域の皆さんが積極的に防犯に取り組んだことです。

市内では、地域の皆さんによる防犯パトロールのほかにも、毎日の生活の中から「防犯」の視点を持って、「声かけ運動」「花いっぱい運動」「ながらパトロール運動(買い物や犬の散歩をしながら)」「夜間の門灯一斉点灯運動」「違法広告物撤去活動(ビラはがし)」などに取り組んでいます。

街頭犯罪などの多くは、ちよつとしたスキを狙う特徴があり、犯行の機会がなければ犯行に及ぶことはありません。

今後も、「ちよこつとした防犯(ちよこ防)」の目を増やして、犯罪者が嫌う「小江戸川越防犯のまちづくり」にご協力をお願いします。

問い合わせ：安全安心生活課

TEL 224-5721

人権教育シリーズ

児童・生徒の人権作文⑧

生涯学習課・TEL 224-6086

このシリーズでは、昨年一月二十六日にメルトで開催された、平成十八年度川越市人権教育実践報告会で発表した、小中学生の人権作文を紹介します。

認め合える社会へ②

霞ヶ関西中学校二年

私たちにとっては、クラスのちよつとしたイベントのような感じで企画した手紙やプレゼントだったのに、あんなに涙を流して喜んでくれるなんて……。

今、思えば、五歳から二年間、幼稚園や学校に行けなかったのだから、学校へ来ることだけでも、とても勇気がいると思います。また、体の障害についても、みんながどういふ目で見えるのか、気にしていたかもしれない。でも、みんなが普通に、Aさんを囲んで「早く学校生活に慣れてね。」という思いを込めて手紙やプレゼントをあげたのがAさんに伝わったのだと思います。後で、Aさんのお母さんが私たちに、「みんなの思いやりであんなに明るい子になりました。『足がないことはいじめられるかもしれない。』という心配が吹き飛んでしまいました。」

と言ってくれたことを今でも忘れ

ません。また、母からAさんのお母さんが「どうしても普通の生活

をさせてあげたかった。」と言っていたと聞いて、幼いながらに「そうなんだ。」とびっくりした記憶があります。きつと、私たちにとって普通の生活がその子にとつては夢であり、私たちにとつて当たり前のことであつたのだと思います。

私は中一のとて、一か月だけでしたが、車イスで生活したことがあります。入院直後は「もしかしてずつと歩けないままなのか。」と、不安な気持ちに突き落とされました。自分の足で思うように歩くことができなかつた一か月のつらさでしたが、Aさんは毎日、そのつらさ、不便さと向き合つていかなければならないのです。私は車イス生活のとき、すべて人によつてもらふことはとてもつらいことだと知りました。(つづく)
 *ふりがなは広報室で付けました。

親子で選挙を考えよう⑪ 選挙管理委員会事務局・TEL 224-6120

●衆議院の解散

衆議院の解散は、内閣の助言と承認に基づいた天皇の国事行為です。内閣総理大臣が閣議を開き、「衆議院の解散に関する閣議書」にすべての国务大臣の署名を集め、皇居に赴いて上奏し、天皇から詔書に署名と御璽を受けます。詔書が発せられると、直ちに衆議院本会議が開かれ、議長が詔書を読み上げて衆議院を解散することになります。

衆議院が解散すると、40日以内に総選挙が実施されます。戦後、総選挙は23回行われています。任期満了によるものは昭和51年12月に実施された1回のみで、残りの22回は解散によるものです。一方、定数の半数を3年ごとに選挙する参議院には解散はありません。



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

みんなの作文

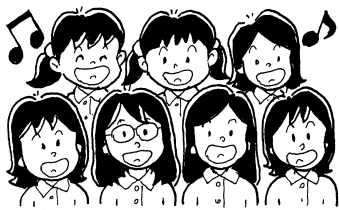
みんなで心を一つにした音楽会

古谷東小学校四年

熊谷 めぐみ

市内音楽会のために、私たちは雨の日の三十分休みや昼休みなども使って「スマイルアゲイン」の練習をしました。

初めは、アルトがソプラノに、最初は、アルトがソプラノに、アルトの音がソプラノの声に負けなくらい上手に歌えました。私もみんなも先生もすごく喜びました。みんなで熱心に練習したかいがあったなあと思いました。



この後もたくさん練習して、いよいよ市内音楽会の日が来ました。私はバスの中でみんなと歌を歌いながら行きました。

と少しきんちようがおさまってきました。私は、ソプラノとアルトが重なる所がかんばってソプラノの声を出しました。一番が終わって二番に入った時、もつとがんばって声を出しました。歌の中で一番もりあがる所で、みんなの心が一つになりました。今まで歌った中で一番いい出きだと思いました。

ほかの小学校の曲を聞いてみると、川越小学校の合奏の「千の風になつて」が一番よかったです。三年生なのに、けんばんハーモニカやピアノ、木きん、鉄きんの音がうまく重なってとてもきれいでした。

合唱でよかったのは、広谷小の「サツカー大好き」です。高い声と低い声がひびき合っていてきれいでした。

私にとっては、大成功の市内音楽会でした。

*ふりがなは広報室で付けました。

ぼしゃべり倶楽部 227 植物あらかると

ボケ



丸みがあった花びらが特徴です

小仙波町 1丁目で真っ赤なボケの花を見つけました。一口にボケといっても、種類はさまざま。

花が赤・白単色の物や赤と白・ピンクと白が混じった物、一重咲きや八重咲き、12月ころから咲き始める物や3月ころから咲く物、高さが30cmから2m近くの物など数百種類あると言われています。

瓜のような実が付くことから漢字で「木瓜」。この読み方が、「もけ・ぼつけ・ぼくか」などから「ボケ」に変化していったようです。

撮影したボケには、つぼみがたくさん付いていました。これからも当分の間、花が楽しめそうです。

短歌

四元仰・選

新聞をめくる音にも反応す眠りの浅くなりたる孫は
豌豆のつるの支えに竹の枝敵にさしゆく地あたたかし
対岸に白鳥翹う越辺川凍てつく中でカメラ構える
娘の家の部屋に飾らるる亡妻の書画形見となりて輝きており
カラオケの喧嘩からひとりのが来れて昏きへやにマニキュアを落とす

岡部洋江(小堤)
加藤世塩(笠幡)
小林勝見(古市場)
藤崎本男(菅間)
三浦八重子(砂新田六丁目)

俳句

石川俊一・選

初晴に新の自転車遠乗りす
街凍てし靴音痛く従いて夜
寶頭盧の膝撫で腹なで石路の花
薪を割る音のしてをり雪の村
シクラメン笑顔えがおに癒される

橘木悦子(霞ヶ関東五丁目)
福島安雄(志多町)
中村潤子(霞ヶ関北三丁目)
山崎聖二(富士見町)
森道子(伊勢原町一丁目)

川柳

小川正夫・選

ガソリンが高値自転車利用増え
娘の料理母が一振り隠し味
春近し出番待つてるスニーカー
コネのない絵馬が一途の風に鳴る
何気ない一言が生む良い思案

武田ミサホ(今成四丁目)
武島征一郎(今福)
我妻信子(砂)
北川ふじ子(三久保町)
樽見義雄(石原町二丁目)

「短歌・俳句・川柳」終了のお知らせ

「短歌・俳句・川柳」は、この広報川越で掲載を終了します。長年にわたるご投稿・ご愛読、ありがとうございました。広報室・TEL224-5495